資料1

■ 重要業績評価指標（KPI）の達成状況（令和4年度）

＜活動第1ステージ＞

目標年度：総合戦略は令和7年度、
まちづくりビジョンは令和12年度
※2次計画ではR10で設定する

累計(3年目)追加

取り組み	具体的内容	北栄町まち・ひと・しごと創生総合戦略							備考
		重要業績評価指標（KPI）	現状値（R1）	目標値（R7/R12）	実績（R4）	累積（3年目）	取組内容・状況（R4）	3年目評価	
(1)企業の経営革新に向けた取り組み	■設備投資を行う企業に対する減免制度の周知及び支援	町内企業の経営革新に関する計画認定件数（地域未来投資法等）	1社	11社/11年	1件	6社/3年	中小企業等経営強化法に係る先端設備導入計画の認定を行った。	順調	まちづくりビジョン
		町内企業増設社数（企業立地促進奨励金申込み件数）	4社/年	25社/6年	2社	11社/3年	企業立地及び雇用促進奨励金の支給により固定資産税額を支援した。	やや遅れている	総合戦略
(2)企業訪問による各分野で抱える課題の把握	■企業訪問を実施し企業が抱える課題の集約及び周知	町内企業への訪問件数 ※町実施分	74社	440社/11年	24社	82社/3年	新型コロナウィルス感染拡大の影響を受けた事業者に補助制度の案内等で訪問を行った。	遅れている	まちづくりビジョン
(3)観光客に魅力ある取り組み	■観光客の滞在時間を長くする仕掛けづくり ・観光客が「あと1箇所行ってみよう」という仕掛け ・休憩場所の検討 ・まち歩きマップ、看板による店舗の紹介 ■外国人観光客の受入体制の整備 ■民泊の取り組み ■観光客のニーズ調査	青山剛昌ふるさと館入館者数（インバウンド受入数）	22万人/年（2万人/年）	20万人/年（3万人/年）	12万5千人/年（2千人）	－	・ふるさと館及び周辺におけるイベントや企画展を、感染予防に配慮した手法を取り入れて開催。 ・入館人数の制限や非接触ARアプリの導入等、感染症対策を行いながらも入館者数の増加に努めた。	遅れている	まちづくりビジョン
		町内主要観光施設入込客数	76万5千人/年	105万7千人/年	55万8千人/年	－	・コナン通り及び周辺の修景整備やSNSを用いた情報発信の実施 ・継続的なプロモーション、広告効果による知名度向上 ・コロナ禍前の7割～8割程度の観光入込客数と回復傾向にある。	概ね順調	総合戦略
		鳥取県中部圏域観光入込客数	176万1千人/年（H30年）	250万人/年	126万5千人/年（R3年）	－	・鳥取中部観光推進機構と連携し、プロモーションを実施。 ・琴浦町、湯梨浜町と連携しグルメキャンペーンを実施し、県内での観光誘客をPRした。	概ね順調	総合戦略
		民泊事業者の増加	1事業者	3事業者	0事業者	0事業者/3年	・民泊事業に新規に取り組む事業者の支援を予定していたが、新型コロナウイルスの感染再拡大及び資材高騰により事業実施は次年度へ延期となった。	遅れている	まちづくりビジョン
(4)米花商店街を地域の財産として活用する意識	■町内飲食店のマップ作成 ■スタンプラリーの実施	R1　64%、R2　47%、R3　43%、R4　51%							－
(5)地域内循環の拡大に向けた取り組みの推進	■地域内循環を推進する町の姿勢を内外にPRする取り組み ・公共調達の際は町内業者を優先して購入する ■地域に貢献する事業者の意識を高める取り組み	町内企業への公共事業等の受注割合	64%	80%	51%	－	本町商工振興に資するため、公共調達の際の町内業者を優先して購入するなど受注機会の拡大に努めた。	遅れている	まちづくりビジョン
(6)コーディネイト機関の活用	■連絡・相談・連携がしやすい体制つくりの実施	北栄町商工会加入者数	377社	380社	400社	－	商工会と連携し、新型コロナウイルス感染症や物価高騰の影響を受けた町内事業者の事業継続に向けた支援を行った。	順調	総合戦略
(7)学校での取り組み	■職場体験を通し地場産業、地元商品への意識形成 ■企業ガイドブックを学校の図書館に設置してもらい地元企業を身近に感じる機会を作る	高校卒業後、地元を離れたが将来は地元に帰って就職したいと思う人の割合※成人式アンケート	51%	55%	53.9%	－	（内訳）希望する人31.46%、どちらかというと希望する人22.47% ・「地域探究の時間」における地域の魅力の発掘、課題解決を図る人材育成。 ・ボランティア体験により地元の理解を深め、社会性を学んでいる。	順調	総合戦略
(8)企業の求める人材と求職者のマッチング	■HPの充実、SNSの活用 ■ハローワーク等と連携し就職情報を得やすい状況をつくる	職業能力向上研修者（町内受講者）の正規雇用者数	7人/年	45人/6年	7人	17人/3年	・技能講習等の職業能力開発に関する案内を、庁舎内に設置している「求人情報コーナー」に配架し、就職者及び在職者に周知した。	やや遅れている	総合戦略
		企業立地促進奨励金利用雇用者数	6人/年	40人/6年	1人	9人/3年	・事業所の新設並びに増設に伴い、町内者を雇用する事業所に奨励金を案内する。	遅れている	総合戦略
(9)企業と連携した女性、障がい者が働きやすい環境づくりの推進	■ハローワーク等との連携による啓発 ■女性が結婚、出産後も働きやすい職場づくり ・ハラスメントを防止するための研修 ・女性ならではの困りごとに関する相談窓口の設置 ・働き方改革による勤務体系・業務内容の見直しを事業所に呼びかける ■子育て世帯が働きやすい職場の環境づくり ・経営者のイクボス・ファミボス宣言を呼びかける	男女が平等に参加できる社会づくりに対する満足度　　※町民アンケート	51.9%	70%	数値なし ※調査は令和7年度に実施	－	・女性と町長と語る会の開催。 ・自治会長会評議員会と男女共同参画推進会議との意見交換会の開催。 ・町報、ホームページ等での啓発	－	まちづくりビジョン
		イクボス・ファミボス宣言取り組み町内企業数	16社	30社	18社	－	町商工会と連携しながら商工振興を進めるとともに、ワークライフバランスの視点を町内事業者に広く周知した。	やや遅れている	まちづくりビジョン
		育児について相談したり、話したりする人があると答える人の割合	98%	100%	97.3%（3歳児健診、3月末）	－	（説明）3歳児健康を受診した保護者のうち、育児について相談したり、話したりする人があると答えた人の割合。 ・「育児教室における相談支援」、「相談相手がない方の対応」、「妊娠期からの早期介入」は中間と同様。 ・産後早期に支援者が不足する方に対し、産後ケア事業や養育訪問事業による支援を行った。	概ね順調	総合戦略
(10)若年層の就業支援	■若年層へのB&G海洋センター使用料を一定期間無料にする取り組み								－
(11)事業承継の取り組み	■空き店舗・工場・倉庫・土地の情報をHP等により探しやすくする ■相談窓口の周知 ■企業訪問の実施	事業承継件数相談件数 ※商工会相談件数	18件	-	47件	91件/3年	事業承継・引継ぎセンターや県が行う相談会及び制度等の周知を図った。		
		実事業承継件数 ※商工会に相談し、事業承継した件数	5件	-	3件	11件/3年			
		事業承継件数	35社	60社	3社				まちづくりビジョン
(12)創業支援の取り組み	■移住相談会等でのPR ■創業支援・空き店舗・古民家の活用を支援	町内起業者数（創業支援事業活用者数）	3社/年	18社/6年	5社	13社/3年	北栄町創業支援事業、北栄町由良宿まちづくり活性化支援事業において起業・創業を支援した。	順調	総合戦略
		移住相談会へ参加	8回／年	10回/年	6回	26回/3年	・移住相談会への参加、町独自のオンライン相談会の開催、窓口での相談受付	やや遅れている	総合戦略
		移住者数	66人／年	75人/年	63人	233人/3年	・各種補助事業（移住奨励金、若年層移住定住者住宅取得補助金、IJUターン空き家改修支援事業補助金）による支援	やや下回っている	総合戦略
		特定創業支援認定者数	5件/年	30件/6年	4件	16件/3年	・産業支援センターや商工会が実地する経営支援相談や研修会に参加して認定された者に対し、町から認定証明書を交付し、創業に必要な支援を行った。	順調	総合戦略
(13)関係産業団体との連携	■AI、IoT、ICTの活用に係る研修会・勉強会の開催 ■6次産業化支援	6次産業化に係る新たな商品開発件数	商品開発1件/年	商品開発3件/年	商品開発1件/年	3件/3年	・6次化に意欲のある者からの相談に随時対応し、必要に応じて県農業振興課等と連携しながら助言を行った。 ・6次化に取り組む者に対して、食と農の魅力創造支援事業補助金により支援を行った	やや遅れている	総合戦略
(14)小規模企業に特に配慮した施策	■町へ提出する書類の簡素化								－